

# 分科会発表概要

## 第1分科会：「産業社会と人間」・「総合的な探究の時間」の指導について

①埼玉県立幸手桜高等学校（発表者 教諭 川邊 友子）

発表題目：「キャリア教育」中心の「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」の指導について

概要：総合学科として創立13年目を迎えた本校では、生徒一人ひとりの進路希望に対応する教育課程の再構築を行い、「産業社会と人間」および「総合的な探究の時間」の指導を通じて、キャリア教育の充実を図ってきました。1年次では自己理解と進路研究を中心にペーパータワーゲームなどの体験学習を実施。2年次ではインターンシップや高大連携事業を通じて職業観を育成し、3年次では進路ガイダンスや面接指導などを通じて生徒が希望する進路実現を目指しています。地域連携やICT活用にも力を入れ、生徒が「夢を語り」「感謝を学び」「使命感を持って巣立つ」ことを目指した教育活動を展開しています。

②長崎県立長崎明誠高等学校 発表者 教諭 土橋敬一・中村映美子・川本真奈美・馬場正樹

発表題目：産社から始まるキャリア教育

概要：本校では自己の進路にあわせて100以上の開講科目から自分だけの時間割をつくります。このシステムの中で1年次は自己のライフプランを立てます。2年次はその実現のため様々なスキルを体験的に習得するキャリアプランニングを学びます。3年次はこれまでのキャリア教育の集大成である課題研究を生徒達は個人で行います。このような3年間のキャリア教育を推進し、国公立大現役合格から就職まで多様な生徒の進路実現を果たしています。令和2年このキャリア教育推進プログラムで文部科学大臣賞を受賞しています。発表では産社から始まる3年間のキャリア教育をします。

## 第2分科会：教育課程編成及び展開上の諸課題について

①岩手県立北桜高等学校（発表者 指導教諭 大矢 晃子）

発表題目：統合を魅力に一校舎制による新たな教育活動一

概要：創立114年目を迎えた歴史と伝統を持ち、県北唯一の総合学科と工業科を併設し、地域に根差した教育活動を展開しています。統合2年目を迎え、別校舎制を導入し、両学科の特色ある教育課程編成や地域協働による学習活動を実践しています。新たな価値を生み出し、挑戦する力、まごころを持ち、信頼を築く力の育成を目指し、総合学科の強みを活かした本校の今（実践事例）とこれから（新たな未来図）をご報告いたします。

②愛媛大学附属高等学校（発表者 教諭 上床 孝樹）

発表題目：課題解決に挑む主体的学び手の育成を目指して～高大連携を軸とした教育課程編成～

概要：本校は、愛媛県松山市に位置する、1学年3クラスの全日制総合学科高等学校です。「確かな学力を身に付け、自ら課題を見つけ、学び、考え、主体的に判断して問題を解決する力をもつ生徒の育成」を目標に、教育課程の編成をはじめとする教育活動を展開しています。前身は農業高校であり、その伝統を継承しつつ、近年では高度かつ国際的な視野を備えた教育を推進し、未来を切り拓く人材の育成にも力を注いでいます。本分科会では、高大連携や他校連携を中心とした教育実践報告と、今後の教育課程の在り方について展望を述べます。

## 第3分科会：「キャリア教育」・「進路指導」の在り方について

①新潟県立佐渡総合高等学校（発表者 教諭 蜂屋 有希子）

発表題目：生徒のアントレプレナーシップを育む探究学習の試み～島内唯一の総合学科だからこそできること～

概要：本校は新潟県の佐渡島で唯一、専門教育が受けられる、島内の産業教育の拠点校です。2年次から各々の興味・関心や進路希望等に基づき、5つの系列に分かれ、それぞれの特色を活かした活動に取り組んでいます。今回の発表では、私が担当している家庭科および福祉科目を学ぶ「生活・福祉系列」の取組を中心に、地域と連携した、アントレプレナーシップ（チャレンジ精神や情報収集・分析力など、予測困難な時代を生きる、子どもたちに身につけてほしい能力）を育むことを目的とした取組について報告いたします。

②京都府立清新高等学校（発表者 教諭 安見 弥生）

発表題目：自分を磨いて輝く未来を実現する

概要：本校は京都フレックス学園構想に基づいて令和2年度に開校した学校です。生徒が自分のペースに合わせて学ぶスタイルを選べる他、充実した支援体制により生徒の学びと成長を後押ししています。生徒が地域を支え、地域で活躍できる人財となることを目指した教育課程の編成と、生徒一人ひとりに合わせた進路指導により生徒の希望進路実現を目指しています。開校から6年の取組と課題について報告します。

## 第4分科会：総合学科としての特徴的な取組・特色ある取組について

①島根県立松江農林高等学校（発表者 教諭 遠藤拓人）

発表題目：総合学科生の活躍と学校の魅力化について

概要：本校には学習活動等の高度化をねらいとした、魅力化推進室が設置されています。この魅力化推進室では生徒の総合的な探究の時間でのテーマ設定のヒントの提示や外部連携のマネジメント等の支援を行っております。この魅力化推進室事業によって本校総合学科生徒がどのような活動を展開しており、またどのような成果が生まれているかについて報告させていただきます。

②広島県立神辺高等学校（発表者 教諭 徳永 二亮）

発表題目：総合学科の特色を生かした探究活動～よりよい地域づくりに向けて～

概要：本校は、大正5年に広島県深安郡立農事講習所として設立され、その後は農学校や工業高校などの幾多の変遷を経て、平成10年に総合学科として改編されました。現在、前身の専門高校を引き継ぐ5つの系列（人文・理数、看護・福祉、食品科学、機械テクノロジー、電気）を設置しており、生徒達は、自分の夢や進路希望に応じた分野を選択しています。また、本校は地域連携に力を入れており、地域が抱える課題の探究活動や地域行事への参加を通して、社会に貢献できる人材の育成を目指しています。本発表では、総合学科ならではの探究活動を通じた、地域と密接に繋がるための取組について発表いたします。

## 第5分科会：総合学科の成果と課題について

①北海道森高等学校（発表者 教諭 金子真実）

発表題目：自分発信、仲間と創る、社会に届ける～探究が息づく学級づくり～

概要：本校は昭和16年に町立の実科高等女学校として設立された歴史ある学校です。昭和23年以降、普通科、水産科、家政科等を併設しながら多様な教育活動を展開し、平成11年北海道で2校目の総合学科高校となりました。現在は、漁業、林業、農業、福祉等豊かな資源と人材を生かし、地域と連携した教育に力を入れています。昨年度よりDXハイスクールとして様々なデジタルツールを創造的かつ横断的に活用し、主体的に社会参画する能力の育成と教育内容の充実、学校の魅力化を図っています。学級経営という土台づくりのもと、「学校行事」「総合的な探究の時間」「産業社会と人間」「LHR」「教科学習」をつなげ、資源豊かな地元森町と学校教育の架け橋となるべく、生徒と共に成長させてきた取組を紹介します。

②愛知県立知多翔洋高等学校（発表者 教諭 平林 佑）

発表題目：進路多様校におけるKPI設定にむけた取り組み

概要：本校は、大学・短大・専門・就職の進路希望がまんべんなく存在する学校です。さらに、自由や多様性をアピールポイントにしているため、現在の満足と将来の満足に対するバランスも個々に多様な現状です。そのような中で、各学年や各教科での取り組みが、成功したといえるのかどうかを判断するための評価軸に欠け、他の教員に対してのノウハウ伝承がうまくいっていない現状があります。そこで、本年度からKPIとして非認知能力を設定し、教育の効果測定を行う指標としてベネッセのGPSアカデミックを導入しました。本発表ではその活用例と使用に伴う所感について発表します。